

南ア月報  
(2019年8月)

**【内政】**

- ラマポーザ大統領の緊急国会答弁

**【外政】**

- ラマポーザ大統領のタンザニア訪問
- ラマポーザ大統領のG7ビアリッツサミット出席
- ラマポーザ大統領のTICAD7（第7回アフリカ開発会議）出席

**【経済】**

<経済指標>

- 経済成長率
- 消費者物価指数（CPI）
- 為替レート
- 製造業生産高
- 鉱業生産高

<出来事>

- 日・南アビジネスフォーラムを横浜で開催
- 財務省が Eskom 分割案を提案

**【警備】**

- ヨハネスブルグCBDにおける暴動
- プレトリアCBDにおける暴動

## 1 内政

### ●ラマポーザ大統領の緊急国会答弁

ラマポーザ大統領は G7 及び TICAD に向けて出発する直前の 22 日、急遽国会で答弁を行い、南アの深刻な政治的経済的状况に関し、南アのおかれている現状と大統領及び政府としての対応を表明した。答弁の中で、ラマポーザ大統領は、6月の施政方針演説及び7月の大統領府予算演説で概説した内容を中心に、成長促進改革の一環として、より多くの観光客及び高度なスキルを持つ専門家をひきつけるためのビザ制度改革を行う等、様々な取組について述べた。また、護民官（Public Protector）のレポートに関し、緊急の司法審査を受けており、裁判所はこの問題について判断を下す旨述べた。

## 2 外政

### ●ラマポーザ大統領のタンザニア訪問

14日から15日にかけて、ラマポーザ大統領はマグフリ・タンザニア大統領の招待により、タンザニアを国賓訪問した。その後、ラマポーザ大統領は、17日から18日にかけて開かれた第39回 SADC 首脳会合に出席した。首脳会合では、SADC が設定した「工業化戦略・ロードマップ 2015-2063」等に関して活発な議論が行われた。

### ●ラマポーザ大統領の G7 ビアリッツサミット出席

25日から26日にかけて、ラマポーザ大統領は G7 ビアリッツサミットに出席するため、フランスを訪問した。議長国であるフランスは、経済力を有するアフリカの主要なパートナーとして南アを招待した。ラマポーザ大統領は、「デジタル化」、「アフリカとのパートナーシップ」及び「気候、生物多様性、海洋」のセッションに出席した。南アは、より多くの投資を呼び込み、アフリカの利益を促進するために G7 というプラットフォームを利用していく狙いである旨、大統領府は発表した。

### ●ラマポーザ大統領の TICAD 7（第7回アフリカ開発会議）出席

28日から29日にかけて、ラマポーザ大統領は TICAD7 に出席するため、訪日した。ラマポーザ大統領は、全体会合 2 「民間セクター育成やイノベーションを通じた経済構造転換の加速とビジネス環境整備」及び全体会合 3 「官民ビジネス対話」で麻生副総理とともに共同議長を務めたほか、STS フォーラム及び日本・アフリカビジネスフォーラムにおいてスピーチを行った。

### ●日・南ア首脳会談

28日、TICAD7出席のため訪日中のラマポーザ大統領は、安倍総理大臣と会談した。安倍総理大臣から、G20に引き続いての訪日に感謝するとともに、ビジネス促進のTICAD7で、アフリカの経済大国南アフリカの果たす役割は大きく、ラマポーザ大統領のリーダーシップに大いに期待する旨述べた。また、来月開催されるラグビーワールドカップに参加する南アフリカチームの訪日を歓迎する旨述べた。これに対し、ラマポーザ大統領から、TICAD7への招待について、また、アフリカ各国が訪日し、アフリカの開発について議論する機会を頂き感謝すると述べるとともに、科学技術と人類の未来に関する国際フォーラム（STSフォーラム）の取組を高く評価する旨発言があった。

### 3 経済

#### <経済指標>

##### ●経済成長率

2019年第2四半期（4～6月）の実質GDP成長率は、成長率+3.1%、前年同期比では+0.9%となった。支出面では、家計消費支出が+2.8%（成長寄与：+0.6%）、固定資本形成が+6.1%（成長寄与：+1.1ポイント）、輸出が▲（マイナス）0.7%、輸入が+18.8%、純輸出の成長率に▲5.6ポイント寄与した。セクター別のGDP成長率は、鉱業セクターが+14.4%（成長寄与：+1.0ポイント）、金融・不動産・サービスセクターが+4.1%（成長寄与：+0.9ポイント）、貿易・ケータリング・商業サービスセクターが+3.9%（成長寄与：+0.5ポイント）、行政サービスセクターは+3.4%（成長寄与：+0.5ポイント）となった。（南ア統計局、9月3日）

##### ●消費者物価指数（CPI）

7月の消費者物価指数（CPI）は、前月に比べ0.4%上昇した。年間消費者物価インフレーション率は前年同月に比べ4.0%上昇。（南ア統計局、8月21日）

##### ●為替レート

2019年8月31日付（南ア準備銀行）

7.0132 ランド/円

15.1542 ランド/米ドル

16.6378 ランド/ユーロ

##### ●製造業生産高

6月の製造業は、前年同月比3.2%減。主なマイナス要因は、石油、化学製品、ゴム、プ

ラスチック製品で 7.7%減。主なプラス要因は、食品、飲料品で 3.7%増。季節調整後生産高は、前月比 1.5%減。また第 2 四半期季節調整後生産高（4～6 月）は第 1 四半期（1～3 月）に比べ 0.6 %増で、製造業 10 部門中 4 部門で生産高増となった。（南ア統計局、8 月 8 日）

#### ●鉱業生産高

6 月の鉱業生産高は、前年同月比 4.2 %減。主な要因は、金で 16.0 %減、ダイヤモンドで 33.2 %減、PGMs で 6.3 %減。季節調整後生産高は前月比 3.3 %増、また第 2 四半期季節調整後生産高（4～6 月）は第 1 四半期（1～3 月）の比 3.6 %増となった。（南ア統計局、7 月 11 日）

#### <出来事>

##### ●日・南アビジネスフォーラムを横浜で開催

TICAD 7 出席のため訪日したラマポーザ大統領は、28 日に横浜の日産グローバル本社で開催された日・南アビジネスフォーラムに出席した。ラマポーザ大統領はスピーチの中で、2 国間の強固な関係を強調し、幅広いセクター（自動車、金融、鉱業機械、農業）において日本がリードインベスターとなってきていることに感謝の意を述べました。また、11 月 5 から 7 日にヨハネスブルグで行われる第 2 回南ア投資会議に参加し、同国でのビジネスチャンスをより多くの方に知ってほしい旨呼びかけた。

##### ●財務省が Eskom 分割案を提案

南ア財務省は、多額の債務を抱えた Eskom の分割案を提示した。石炭火力発電所の処分をすることで、最大で約 4,500 億ランドの資金調達ができると述べた。この案では、オークションで老朽化した発電所を、発電所が保持している義務（スタッフ契約、石油供給に関する契約、環境保全など）、電力購入契約（PPA）と共に売却できる。現在も建設が進んでいるメデュピ、クシレ発電所も完成後に売却されるリストに入っている。一方、Eskom 側はこの提案を否定している。

## 5 警備

##### ●ヨハネスブルグ CBD における暴動

1 日、ヨハネスブルグ CBD において、警察による商標法違反商店に対する捜索が行われ、これに反発した外国人商店主等が警察官を攻撃する事態となった。警察官に対する攻撃はエスカレートし、CBD 内の外国人による暴動に発展した。これを受けて 7 日、警察は大規模部隊に投入し、CBD の浄化作戦を実施した。

##### ●プレトリア CBD における暴動

28日、プレトリアCBDにおいて、タクシー乗り場周辺での外国人による不法薬物販売の撲滅を訴えたミニバスタクシー運転手による抗議活動が行われ、ミニバスタクシー等でCBDの主要道路を封鎖した。また、この抗議活動がエスカレートし、外国人経営の商店等が放火や略奪の被害に遭った。